

議案第197号 平成18年度南相馬市簡易水道事業特別会計補正予算について
【質疑】 現地調査で指摘のあった村上簡易水道内の修繕状況は。
【答弁】 一部委託をしたところも含め工事は完了している。



▲ 10月6日 豪雨被害 (鹿島区港地区)

議案第202号 平成18年度南相馬市下水道事業会計補正予算について
【質疑】 アスベストによる煙突改修工事の見積りは。
【答弁】 工事費用2,000万円相当である。
【質疑】 施設修理等の見積りは、どこがおこなうのか。
【答弁】 基本的にはそのポンプメーカーからの見積りになる。その他我々が判断出来るものは、資料を基にして設計書等を作成している。

議案第203号 民事調停の申し立てについて(市営住宅使用料)
【質疑】 調停の見通しはどうなっていくのか。
【答弁】 見通しは8月31日現在で20名の方が滞納。分納誓約や一部支払うという方がいて、最終的に7名となった。

議案第193号 平成18年度南相馬市一般会計補正予算について
【質疑】 今年の天候の問題で平年より大豆の生育状況にどのような影響があると認識しているか。
【答弁】 適期の播種が行われ

議案第193号 平成18年度南相馬市一般会計補正予算について
【質疑】 9月補正に係わる内容と各区の予算執行上のバランス等について。
【答弁】 9月補正は当初予算で対応できなかったもの。それから補助金等確定に伴う変更で計上されている。

教育委員会関係で、特に図書購入費について、今回補正となっている。鹿島区においては、6月で図書購入費を計上してきた。その他美術品購入費について、相馬駒焼25点が計上されている。育英資金貸付特別会計については、当初見込より実際に貸付者、決定者が少なく補正減となっている。

【質疑】 育英資金の貸付状況及び内容について。
【答弁】 当初66名で計画した



▲新図書館の模型

が38名の貸付者となった。理由として、昨年度、原町区25名、小高区11名、鹿島区2名であり、鹿島区が極端に低いので、小高並に勘案して予算の計上をしてきたが、今年度においても、鹿島区では2名となっている。日本育英機構や、金融機関での貸付の影響があり減っている。貸付内容として、月額医学部で6万円、その他の大学で4万8千円。高等専門学校及び専修学校3万5千円。高校1万8千円。他の市町村と比較して高い状況にある。入学時に一時的に多額の経費が必要であり、金融機関からの貸付となってい

た地域は、ほぼ平年並みの収穫が見込まれると考えているが、海抜ゼロメートル地帯で播種期の降雨から十分管理が出来なかった大豆の転作田については、収穫が見込めない所もあると認識している。
【質疑】 稲作の猪・猿被害に對しての森林環境交付金を使った事業を今後展開する必要性があると考えます。
【答弁】 猪・猿等の部分に関連する森林整備を県に働きかけながら可能な限り対応できるように方策を検討していく。
【質疑】 「懸けの森」整備事業の詳細と事業の進め方について。
【答弁】 登山者の安全を期するため草刈関係でいじった部分があり、国有林側との話し合いで保安林の網をかぶつていくこと調査が必要である。
【質疑】 まちづくりには専門的に携わる職員が汗をかいていくことが一番求められていると考えるが取り組み方は。
【答弁】 職員が現地に赴かないことは無い。現地に行かない限りその内容について分からない点がある。コンサルタントからの成果について、チェックする機能というのにも必要になってくるということ。足を頻りに運んで現地を

生活困窮者という条件もあるが、所得制限をオーバーしている人、成績が5段階評価で3・5以下でも貸付をしてきている。
【質疑】 図書費について
【質疑】 図書予算全体のあり方と、小高区、鹿島区は区の予算の中で執行されているが、図書予算は中央図書館だけでなく、市全体の予算にすべきではないのか。図書の蔵書9万6千冊の購入と新図書館が、できるまでの対応は。
【答弁】 質の高い子供の本の収集は。学校図書館基本的図書の重点収集は。図書の購入ルートについて。
【質疑】 計画として、新図書館オープン時点から各区の予算としてではなく、中央図書館が一括予算計上するという様な方向で現在進めている。オープンまでは、合併協議の中で決められた通り、各区の予算で実施して行く。すべての図書を現在の図書館及び他の施設に保管する事は不可能であり、基本的にはオープンまで良い状態で保管する。一部貸出もする。質の高い子供の本については、20年程度出版が継続されているロングセラーで評価の定まっているもの。学校図書の重点収集につ

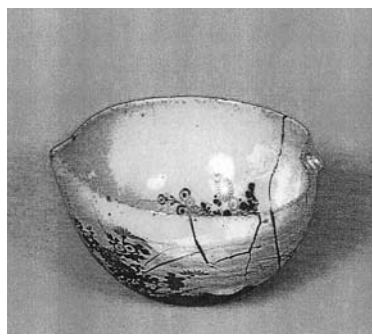
熟知している。
【質疑】 常磐自動車道対策費について、適正価格の判断はどのように対応しているのか。
【答弁】 用地補償費は、補償鑑定を入れての金額である。公共事業に関わる用地の18年度の1㎡買取単価は、田1,740円。畑1,640円。山林原野660円である。宅地は個別鑑定評価をかけて算出している。
【質疑】 耐震改修工事補助事業の取組みについてどう進んでいるのか。
【答弁】 耐震改修工事は国の補助があるが、要件が厳しい。該当件数も全国的に少ないことから耐震改修事業まで進んでいないのが実態である。
【総括質疑】
【質疑】 道の駅工事入札で分離発注になった経過について。
【答弁】 通常、建物の発注は建築本体、電気、設備、外構という業種ごとに分けて発注するのが南相馬市の基本的な考え方である。
【質疑】 分離発注より一括発注の方が安くなるのではないか。
【答弁】 一括発注は出来ないことはない。設計費が分割したから安くなる、高くなるということではなく、合算しても結



▲ 10月6日 豪雨被害 (原町区八木沢峠)

果的に設計金額は一緒になる。
【反対討論】 構造改革の名の下での国民いじめの政治が南相馬市民の生活に大きな影響を与えている。特に高齢者、障がいを持っている人には過度な負担がかかり日常生活に深刻な影響を与えている。市長はこういう状況に忸怩たる思いであると言明しながらも具体的な対策がないのが実態であるので反対。
【賛成討論】 当初予算において対応出来なかった事業及び事業執行上著しく支障をきたし、市民生活に不便を帰すものであると考える。従いまして、市民生活の円滑な行政運営のために必要であるとの視点で賛成。
【採決の結果】 原案のとおり可決。

いては、場所に関りがあり、新しい図書館は学校図書館の支援を目標とし、新図書館のなかで場所を確保して行く。購入ルートについては、南相馬市の書店すべてに加入して頂いて、納入協力会としてのルートを確保して行く。
【質疑】 博物館費の中で、今回購入される相馬駒焼の価格決定及び博物館の入場者数について。
【答弁】 価格決定にあたって、相馬市において、34点で3千万円で購入計画のあった品、平成15年に相馬市の事情で中断、その後打診を受け、当初1千9百万円で購入依頼があった。今回25点で1千万円で購入する事となる。価格については県立博物館の専門担当者の意見と市場価格等を参考にした。田代家2代から14代の作品であり、調査研究後において、書物での整理、



▲相馬駒焼

図録刊行、展示企画等でPRに努めていく。
【反対討論】 中央図書館費4,398万8千円の予算、鹿島区は200万円で、職員配置は臨時で週3日、その外は生涯学習センターで対応している。鹿島中の屋内体育館の雨漏り、校庭の砂、飛散対策の調査費も無い。各種大会における助成減を理由に反対。
【賛成討論】 9月補正は冒頭示された通り、補助金の決定、変更、当初予算において対応できなかった必要な事業の予算措置である。生涯学習として、図書館資料の整備充実を図るものと理解し賛成。
【採決の結果】 原案のとおり可決。
議案第196号 平成18年度南相馬市育英資金貸付特別会計補正予算について
【採決の結果】 原案のとおり可決。

